

(計画名)	和歌山区域都市開発区域建設計画
(策定主体)	和歌山県
(地域の課題)	
<p>○ <u>人口減少、中心市街地の機能低下、地域コミュニティの活力減退</u> →総合交通体系の整備、都市機能の充実、地域産業の活性化 →歴史文化遺産等を活用した観光振興</p> <p>○ <u>東南海・南海地震対策</u></p>	
(計画の概要)	
<p>(1)「開かれた和歌山」を実現する交通・情報通信ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>区域内主要都市間を結ぶ近畿自動車道紀勢線や関西圏の外郭環状を形成する京奈和自動車道といった高規格幹線道路や、県境を越えた交流連携の強化に資する第二阪和国道をはじめとする府県間道路等の整備。</u> ・特定重要港湾和歌山下津港、重要港湾日高港において、陸上高速交通網と連携した物流の効率化及び災害時のリスク分散を図るため、港湾機能を強化。 ・<u>情報通信基盤の整備による情報格差の解消。</u> <p>(2)環境と調和した高次都市機能の集積促進と産業の活力創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>下水道整備、公園整備など快適な生活環境整備、地域の基幹病院の設備充実</u> ・<u>農産物生産基盤の整備、地域ブランドの育成、産品の高付加価値化</u> ・<u>企業誘致の推進と県内産業のイノベーション推進による県内産業の活性化</u> <p>(3)都市との交流による農山漁村振興と定住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>団塊の世代の大量退職を踏まえ、圏域内への人口流動につながる施策の推進と定住に向けた総合的な支援</u> <p>(4)歴史文化資源と豊かな自然を活用した観光の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>関西国際空港や大都市圏との近接性と世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」等豊かな自然・歴史・文化を活かした観光振興</u> 観光拠点施設の整備、シーニックバイウェイ等地域と行政が連携した景観づくり <p>(5)「最小不安社会」を実現する災害対策と安全・安心なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>ソフト対策を含めた地震・津波対策等防災機能の強化</u> 緊急輸送道路や港湾施設における耐震強化岸壁・津波防護施設の整備、<u>総合防災情報システム・防災センターの整備</u> ・<u>ユニバーサルデザインの考え方や防犯に配慮した生活環境整備</u> 	